



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成30年3月31日発行



▲全国高等学校選手権個人戦3位入賞の齋五澤選手

◀卒業式での学校長式辞

▼全国選抜大会への出場を決めた生徒たち



平成30年

3/31

第56号

- 「贈る言葉」 学校長 岡部 宣男 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 3ページ
- 学窓の思い出 4~5ページ
- 進学・就職状況 6~7ページ
- 活躍する部活動 8~11ページ
- 白鷗大学だより 12ページ
- 本校舎トピックス 13ページ
- 富田キャンバストピックス 14ページ
- SSH活動報告 15ページ
- PTAだより・新生徒会・他 16ページ



贈る言葉

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

554名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう、ございます。

3年間を振り返ると、様々な出来事がよみがえってくると思います。教室での学習、部活動、生徒会活動や学校行事など、一人ひとりが一所懸命努力し、悩み、力を注いできました。時に厳しく、時に苦しく感じたかもしれませんが、しかし、その一つひとつが皆さんの財産です。

学習面では、希望する進路を実現するために、目標の大学への進学を目指し、学校や家庭で、自らの課題の解決に向けて懸命に努力してきました。また、スーパー・サイエンス・ハイスクールに指定された3年目の入学生として、隣大学の研究室での課題研究、草



本校舎体育祭

木染めの研究などに取り組み、ステージ発表を経験しました。市内の小学生を対象に「白鷗理科教室」を開催した時には、子どもた



富田校舎体育祭

ちにとっても喜ばれました。こうした活動を通して、これからの社会で必要とされる、自ら課題を見つけ、その課題解決のために必要な知識を獲得し、発表する力を養ってきたのです。

部活動においては、各チームの目標に向かって黙々と練習しました。時には怪我に泣きました。思うような結果が出せず、眠れないほど悩み、それでもくじけず、仲間にも励まされ、家族に支えられ、よく努力しました。陸上部は全国高校女子駅伝競走大会に4年連続出場、女子バスケットボール部はウインターカップ初出場で全国ベスト16に輝きました。その他の運動部や文化部も多くの好成績を残し、学校の機運を盛り上げてくれました。今後も大学や実業団等でさらに研鑽を積み、2020年の東京オリンピック出場を目指して欲しいと願っています。

学校行事では、生徒会が中心となって活動した白鷗祭や富キャン祭、体育祭等、様々な場面で、皆さんのパワーと情熱を感じました。特に、富田校舎体育祭のスウェーデンリレーでは、走りの限界に挑戦する姿に心から感動しました。

4月より皆さんは、それぞれが新しい環境の中で目標に向かって生活していくこととなります。今年の3年生は、将来の目標をはっきりと持って進路を決定している

生徒が多く、頼もしく思っています。障害のある弟の成長を見守る事を通して、特別支援学校教諭を目指す生徒、子どもたちや高齢者と触れ合うボランティア活動を通して、「誰もが暮らしやすい地域づくりをしたい」という夢を持ち、社会福祉の道を志す生徒。グローバルにビジネスを展開する起業家



本校舎中庭の桜

になるために、海外の大学への進学を目指している生徒、劇団「四季」に憧れて、ミュージカル俳優

を目指す生徒。自らの不登校の体験から、子供たちに寄り添い、体と心の成長を見守る養護教諭を目指す生徒。陸上部で磨いた脚力を生かして、競輪選手を目指す生徒。頼もしい生徒がたくさんいます。硬式野球部の北浦君は、幼い頃から夢を叶え、日本ハムファイターズの選手になりました。プロの世界での活躍をみんなまで応援しましょう。

さて、先が見えない、そして変化の激しい21世紀の社会の中で、自己実現を目指すには、以上の知識と技能を習得し、自分にとって何が必要か、何が大切かと考える判断力を磨き、底力のある人間力を身につけなくてはなりません。一度や二度の失敗を恐れず、いつまでも「PLUS ULTRA」さらに向こうへの」の精神を持ち続けて下さい。そして、よりよく生きるために先人の夢や努力や悔いを引き継いで、他者と支え合い、優しさのある、幸せな社会を築くことを目指して下さい。このことが、皆さんに課せられた使命です。皆さん一人ひとりが、これからの時代を任せられた人間として、ますます精進されることを願っています。

最後に、私の好きな言葉を贈ります。「美しい花には、かくれた根の力がある」
美しい花を咲かせてください。

卒業生に贈る言葉

自信を持つ



教頭・普通部長 長谷川 嘉明

ご卒業おめでとうございます。3年間の課程を終え、学び舎から巣立っていく卒業生の皆さんには「自信」という言葉を忘れないでほしいと思います。

「自信」に関するある人物のエピソードを紹介します。その人物は物心がついた頃には祖父母に育てられていて、おとなしく内向的な性格でした。小学5年生の時、祖父の働く姿を見て祖父の手伝いがしたいと思い新聞配達をするようになりました。これをきっかけに早寝早起きや、しっかりと食事をするようになったことで身体も健康になりました。もともとスポーツが得意でしたが、中でも水泳は最も得意でした。小学6年生の時に市の大会で優勝したことで、性格も明るく変化しました。中学2年生での県大会優勝を皮切りに高校・大学ともスポーツ特待生として活躍、最終的にはオリン

悩むことが大切



教頭・進学部長 中戸 康平

ビック候補選手まで成長することができました。「自信」を持てる何かがあれば、人間は逞しく成長することができると感じました。卒業する皆さんも「自信」の持てるものを探してみてください。

卒業おめでとうございます。皆さんはこの4月からそれぞれの道へ新たな一歩を踏み出しますが、皆さんが本校で3年間を通して仲間たちと培った力を発揮していけば、少しくらいの困難には負けずに頑張っていけると確信しています。しかし、長い人生ですから壁に突き当たり深く悩むこともあるかと思えます。「悩む力」というベクトルを書いた、政治学者で大学教授の姜尚中（カン・サ

コミュニケーション能力の育成



総合選択部長 長 光則

のであり、「人間関係」を円滑に築くことが、快適で充実した生活を送る必須条件になってきます。そのためにはコミュニケーション能力を備える必要があります。

スマホや携帯電話の急速な普及により、周囲と接することが苦手な若者が増えていると耳にすることがあります。しかしながら世の中が人と人で成り立っている以上「人間関係」は避けて通れないも

自信と責任を持つ



商業部長 松下 正寿

も大切なことは、その両者がバランス良く実践されているかということです。他人の意見を聴かずに自分の主張ばかりをしていてもダメですし、相手に自分の意見が言えない人もダメだと思います。今後、新しい出会いが予想される皆さんには、是非ともコミュニケーション能力を身につけ、円滑な「人間関係」を構築してもらいたいものです。

卒業おめでとうございます。この3年間で、多くのことを学び資格を取得したと思います。各コースで目標とした検定や資格に合格するには、授業だけでなく補習や自宅学習など、皆さんの努力があったことと思います。結果を得るために行動を起こし、実行することで結果が生まれるのです。「やれば出来る。やったから成功に繋がる。」これがとても大切なことであり、自分の自信になります。皆さんは、これから今まで以

上に新しいことや難しいことに遭遇するでしょう。その時には「やれば出来る」と、何事にも負けずにチャレンジして下さい。若い君達ならできます。若いからこそ色々チャレンジして下さい。そしてもう一つ大切なことは、何事にも責任が付いてくるということです。今までは、学校や保護者が皆さんを守ってくれていました。これからは自分の行動は自分で責任を取ります。是非このことを心に留めて生活して下さい。そして、常に周囲の人達への感謝の気持ちを忘れずに生活して下さい。今後の成長に期待し、再会できる日を楽しみにしています。



学窓の思い出



卒業証書授与
特選コース総代
太嶋 祐奈さん(山辺中)

私には「委員長」というあだ名があります。3年間学級委員長だったからです。
「さすが委員長」と友人は笑います。けれど、1年の時に不安を抱きながら始めたこの役割は、その友人たちが私の背中を押し、まっすぐについてきてくれたから続けられました。3年の体育祭では、「委員長しかいない!」と、入場行進で先頭を任せました。本当は、私ひとりでは先頭に立つ勇気すらなかったのですが、クラス全員が全力で取り組む姿に後押しされ、笑顔でやりきることができました。全校1位という結果は、一際輝いて見えました。

新潟大学

医学部 保健学科 検査技術科学専攻



特別選抜コース
3年 2組
原田 芽依
(館林第二中)

だから私は、委員長としての3年間をくれたこのクラスを誇りに思うのです。きっと友人たちは何年後でも私を「委員長」と呼ぶでしょう。その度に私は3年間の感謝を込めて、笑顔でこの声に答えたいと思います。

青山学院大学

法学部 法学科



進学コース
3年 2組
古澤 留奈
(岩舟中)

本校で過ごした3年間は、毎日がとても充実していました。
入学前の私は、友達と仲良く高校生活を送っていきけるか不安でしたが、入学してすぐに多くの友達ができ、登校するのが毎日楽しみになりました。合唱祭や富キャン祭、体育祭などの学校行事を通して、級友たちと協力し合えたことも、印象深い思い出です。定期試験の他に模擬試験や英単語試験などもあり、大変だな、と思う日々もありましたが、友達と分らないところを教え合い、切磋琢磨しながら、乗り越えることができました。

また、大学受験の際には先生方が親身になってくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。
お世話になった友達や先生方と

の別れはとても寂しいですが、大学進学後も本校で学んだことを生かして、日々精進していきたいと思えます。3年間、本当にありがとうございました。

群馬大学

理工学部 化学・生物化学科



中高一貫教育コース
3年 1組
堀 碧泉
(白鷺足利中)

本校で過ごした6年間は、長いようで短い期間でした。私は中高一貫教育コースの第二期生として入学し、仲間と共に切磋琢磨しながら日々の学習に励んできました。

文教大学

教育学部 学校教育課程体育専修



普通コース
3年 4組
南部 千尋
(栃木西中)

私にとって白鷺での高校生活は、数えきれないほどの思い出が詰まった、かけがえのないものになりました。中でも部活動でインターハイに出場できたことは一番印象に残っています。陸上競技部の短距離の仲間たちと同じ目標に

授業の進度は大変速く、ついに行くために毎日の予習を欠かすことなく続けてきました。しかし、この6年間は勉強だけしていた訳ではありません。体育祭や文化祭などはクラス一丸となって全力で楽しみ、学習合宿や修学旅行も良い思い出になりました。
そして、最も多くの時間費やしたのがSSH活動です。大学教授に協力して頂き、課題研究やプレゼン技術を高めることができました。発表会が近くなると皆と遅くまで研究し、少しでも良いプレゼンにしようと努力しました。本校で学んだことを大学に進学しても生かしたいと思えます。6年間本当にありがとうございました。

向かって練習に励み、努力を積み重ねた日々。挫折しそうな時もありましたが、仲間と共に乗り越え、苦しみながらやっと叶えた夢でした。全国の壁は高く、結果を残すことはできませんでしたが、部活動を通して走力や技術だけでなく、責任感や仲間と協調することの大切さを学ぶことができました。そして諦めなければ夢は叶うことを実感できる有意義な時間を過ごすことができました。
4月からは大学生になります。一つひとつに全力で取り組み、私らしく努力し続けたいと思います。3年間ありがとうございました。



文理進学コース
3年 1組
作古 萌子
(結城中)

東洋大学 ライフデザイン学部 健康スポーツ学科

本校で過ごした時間は、心から大切にしたいと思える仲間と出会えたことで、私にとってかけがえない宝物となりました。

今、思い返すと、楽しいことばかりではなく辛いこともありましたが、部活動に励みながら勉学も3年間頑張ることができました。それは喜びや苦しみを分かち合える友人や、支えてくれる先生方、そして家族がいたからこそです。たくさんの方のおかげで壁を乗り越え、前に進むことができました。

修学旅行、文化祭や体育祭などの学校行事から、日々の学校生活



卒業生代表答辞
普通3年2組 和家 将吾君(黒羽中)

に至るまで、クラスメートと過ごした日々は一つひとつが印象深く忘れられない思い出です。

大学進学後は養護教諭を目指します。新しい環境の中で壁にぶつかることもあると思いますが、今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって日々前進していきたいです。



総合選択コース
3年 3組
高島 未夢
(佐野南中)

宇都宮短期大学 音楽科

私は5歳のころからピアノを習い始め、高校では音楽を専門的に学びたいと思い本校に入学しました。そして、芸術エリアの音楽系を選択し、ピアノのレッスンを受けたら、合唱、合奏、ソルフェージュや楽典を勉強したりしました。

合唱祭や学習発表会では、みんなとひとつの音楽を作る楽しさを感じ、達成感を得ることができました。また、吹奏楽部に所属し、コンクールや演奏会に参加して、たくさんの音楽に携わることができました。

私は白鷗足利高校で音楽とかかわるうちに、将来は魅力ある音楽を伝えられる音楽の教諭になりたいという夢を抱くことができました。そして、進路が定まり、音楽



卒業式での校歌斉唱

短大への進学が決まってからは、それがより明確な目標となりました。これからも目標を達成するために頑張っていきたいと思っています。

この3年間で尊敬する先生方や大切な仲間に出会い、とても充実した高校生活を送ることができました。3年間ありがとうございました。



商業コース
3年 1組 選
桐島 遥
(結城中)

小山農業協同組合

本校で過ごした3年間で、一番思い出深いことは部活動です。

私は、女子ソフトボール部に所属していました。この3年間で私を大きく成長させてくれたのは、顧問の先生と一緒にプレーしてきた仲間です。顧問の先生には技術はもちろん、人として当たり前の



普通コース
3年 1組
北浦 竜次
(那須厚崎中)

北海道日本ハムファイターズ

私は3年間硬式野球部に所属し、甲子園出場とプロ野球選手になることを目標に日々練習に励んできました。毎日の練習は本当に大変で、特に冬場のトレーニングは辛かったです。しかし、仲間の励みや監督の言葉に助けられ、乗り越えることができました。体重は入学時より10kg増加し、球速も147kmまで上げることができました。最後の大会では、甲子園出場という目標を果たせず悔しい思いをしました。しかし、昨年のプロ野球ドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから指名を頂き、夢であったプロ野球選手になることができました。

こうして振り返ってみると、本

ことやコミュニケーション能力など、細かく指導していただきました。部訓である「気迫・機転・気配り」をモットーに日々取り組み、人に対する思いやりや気遣い、どんなことにも全力で行動するということを学びました。毎朝の清掃や地域のお手伝いでは、たくさんの人と関わり、コミュニケーション

ンを取る機会を多く得られました。人の為に行動をした時の「ありがとう」という何気ない一言が、私の心に沁みました。

私は4月から社会人になります。今までとは全く違う環境で働くこととなりますが、本校で培った経験を生かしていきたいと思っています。3年間本当に有難うございました。

校の3年間で沢山の楽しい思い出がありました。また「プロ野球選手になる」という夢も実現することができ、本当に幸せな時間を過ごすことができました。これも先生方や指導者の方々、3年の仲間、クラスメート、何よりも野球部の最高の仲間たちとの出会いがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

この感謝の気持ちを忘れず絶対に活躍しますので、これからも応援宜しくお願いします。



特別理事長賞を授与される北浦君

東京国際大学	東京工科大学	東京経済大学	東京家政大学	東海大学	帝京大学	大東文化大学	大正大学	大妻女子大学	創価大学	洗足学園音楽大学	聖学院大学	清泉女子大学	昭和女子大学	女子栄養大学	順天堂大学	十文字学園女子大学	実践女子大学	桜美林大学	駒沢女子大学	玉川大学	共立女子大学	亜細亜大学	立正大学	平成国際大学	文教大学	文京学院大学	日本薬科大学	日本保健医療大学	城西国際大学	駿河台大学	埼玉工業大学	共栄大学	
6名	1名	2名	1名	2名	6名	10名	4名	1名	2名	1名	1名	1名	3名	2名	2名	1名	1名	4名	1名	1名	1名	2名	2名	6名	6名	1名	5名	5名	5名	4名	4名	5名	3名

富士大学	朝日大学	新潟医療福祉大学	松本歯科大学	帝京科学大学	麗澤大学	流通経済大学	明海大学	川村学園女子大学	千葉工業大学	聖徳大学	清和大学	人間総合科学大学	国際武道大学	江戸川大学	敬愛大学	鎌倉女子大学	神奈川大学	神奈川歯科大学	和洋女子大学	武蔵野美術大学	武蔵野大学	武蔵野学院大学	日本体育大学	日本赤十字看護大学	日本獣医生命科学大学	二松学舎大学	東邦音楽大学	東京薬科大学	東京福祉大学	東京農業大学	東京都市大学	東京電機大学	東京女子体育大学
1名	2名	2名	2名	3名	1名	4名	3名	2名	3名	2名	2名	1名	2名	2名	2名	1名	1名	1名	2名	1名	2名	1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	3名	3名	1名	7名	2名

〔専門学校合格者〕

関東職業能力開発大学校	栃木医療センター附属看護学校	獨協医科大学付属看護専門学校	館林高等看護学院	マロニエ医療福祉専門学校	太田医療技術専門学校	他専門学校等
2名	1名	1名	2名	9名	8名	94名

〔117名〕

〔短期大学合格者〕

足利短期大学	佐野日本大学短期大学	國學院大學栃木短期大学	宇都宮短期大学	育英短期大学	桐生大学短期大学部	群馬医療福祉大学短期大学部	高崎商科短期大学	埼玉純真短期大学	埼玉女子短期大学	武蔵丘短期大学	実践女子大学短期大学部	女子栄養大学短期大学	創価女子短期大学	帝京大学短期大学	東京成徳短期大学	目白大学短期大学部
2名	9名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	4名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名

〔32名〕

京都学園大学	京都女子大学	京都造形芸術大学	龍谷大学	追手門学院大学	徳島文理大学	他3名合格
1名	1名	1名	1名	1名	1名	3名

平成29年度の
主な就職先

栃木県外	
アイオン(株)	(株)とりせん
井上金属(株)	(株)ニッカ
茨城食品ガーリック工業(株)	日野自動車(株)
カルソニックカンセイ(株)群馬工場	北海道日本ハムファイターズ
(株)SUBARU群馬製作所	パナソニックAP空調冷設(株)
太平洋工業(株)	三井住友海上火災保険(株)
帝産観光バス(株)	山崎製パン(株)
王子製鉄(株)	ヤマザキビスケット(株)
東武インターテック(株)	神奈川県警察

栃木県内	
アキレス(株)	社会福祉法人 幸梅会グリーンヒルズ21
(株)足利銀行本部	(株)大協精工
いすゞライネックス(株)	竹内産業(株)
医療法人もみみの木会 わたなべ整形外科	田淵電子工業(株)
医療法人恵優会 モール歯科グループ	日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
小山農業協同組合	富士通(株)小山工場
カワチ薬品(株)	(株)UACJ 鍛造 鍛造工場
コマツ物流(株)	吉田プラ工業(株)
北関東総合警備保障(株)	(株)吉野工業所栃木工場
三和シャッター工業(株) 足利工場	陸上自衛隊
柴産業(株)	(株)レンタルのニッケン 足利オフィス
社会福祉法人 薫風会富士見荘	(株)ロピアチルド事業部

就職状況 人材を求める企業

全国での高校生への有効求人倍率が伸びている中、本校への求人数も、昨年に引き続き県内外共に「良好」な状態でした。

9月から始まった就職試験（第一次）の内定率は、70%台後半でしたが、その後各社に連絡を取り、二次や10月上旬から各地で実施された合同面接を経て、12月末にはほぼ全員の内定を勝ち取ることができました。今年度は、事情により数名が、急遽進路変更をしましたが、3月20日までに就職希望者全員が内定を得ることができました。

就職を希望している在校生においては、現在の高校生の就職状況を把握し、「ここで働きたい、努力していきます」というやる気を持った姿勢がまず肝心です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努め、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

活躍する部活動

関東大会

軟式野球部

新チームで秋季関東大会出場

10月21日から第58回秋季関東高等学校軟式野球大会が、栃木県総合運動公園野球場などで開催されました。県予選では準決勝で敗れたものの、3位決定戦に勝利して第3代表として出場しました。

初戦の相手は茨城県1位代表の土浦日本大学高等学校でした。関東大会から捕手兼投手に変更した商1の2長島尚己君(羽生西中)を中心に、投手戦で試合は始まりしました。しかし、新チームとして初めて臨んだ大きな舞台に、本来の力を発揮することができず、失



秋季関東大会のひとつコマ

点を重ね、0対3の完封負けを喫してしまいました。今大会での苦い経験を生かし、来年は、上位進出を目指します。応援ありがとうございました。

白鷗足利	0000000000
	00001011x
土浦日大(茨城)	03

陸上部

関東高等学校選抜陸上競技大会

10月21・22日、東京都の駒澤オリンピック記念公園陸上競技場において、関東高等学校選抜新人陸上競技大会が行われました。

大会前日から悪天候が続き、最終日には台風の影響で中止になる種目や、決勝を中止しタイムレース決勝になってしまいう種目もありました。選手たちも悪天候の中で困惑しながらも、精一杯、競技に臨みました。

男子は4種目、女子は9種目に出場し、男子110メートルハードルで普1の2吉田龍生君(佐野北中)が4位に入賞、女子やり投げで文2の2毛塚玲奈さん(栃木南中)

100メートル自由形

文3の3 細澤知弘君(小山中)

【柔道】

少年男子

- 先鋒 文3の4 吉田翔君(足利中)
- 次鋒 普2の3 齋五澤航介君(足利中)
- 中堅 普3の4 長島斥弥君(足利中)
- 副将 普3の1 岩瀬裕希君(足利協和中)
- 大将 普3の5 吉田功二君(大平山中)

本年度も、栃木県を代表する選手として、本校から多くの選手が国民体育大会に出場しました。特に柔道部は本校チームが栃木県の代表チームとして出場、ベスト16に進出しました。出場選手・競技は以下の通りです。

第72回国民体育大会「笑顔つなぐえひめ国体」

【陸上】

共通男子 4x100メートルリレー3走 普3の5 茂呂柊汰君(栃木南中)

【女子ソフトテニス】

普3の1 酒井香乃さん(杉戸中)

【水泳】

200メートル背泳ぎ

文3の2 高村光希君(明治中)

が6位に入賞を果たしました。

吉田君は落ち着いた様子で予選レースを1位で通過し、決勝では果敢に攻めた走りをして入賞しました。また、毛塚さんは悪天候に悩まされ、1、2投目は自己記録よりも低い投げになったものの、3投目に自己記録に迫る投げを見せ予選を6位で通過しました。決勝では6位を維持する形で競技を終えました。

この大会で得たものを次の大会



悪天候の中、レースに挑む

に繋げていきたいです。応援ありがとうございました。

女子ソフトテニス部

第3位入賞！全国選拔出場権獲得

1月19〜21日にかけて宇都宮市清原体育館で関東高等学校選抜ソフトテニス大会が行われました。

1回戦は国本学園(東京)との対戦でした。苦しい戦いとなりましたが、相手のテニスに対応し3

対0で勝利しました。勝てば全国選抜大会への出場が決まる準々決勝では健大高崎(群馬)と対戦し



ポイントを取り喜ぶ海老根さん(左)と福田さん(右)

ました。相手は立ち上がりから積極的攻めてきましたが、落ち着いたプレーで少しずつ流れを呼び込み2対0で勝利を収め、3月28〜30日に名古屋市で行われる全国選抜大会への出場権を獲得しました。準決勝では埼玉平成(埼玉)に1対2で敗れてしまいましたが、昨年の準優勝に続いての入賞となる第3位という結果を残しました。地元開催ということもあり、たくさんのご声援をいただきました。ありがとうございます。

【出場メンバー】

- 普2の4 福田真由子さん(今市中)
- 普2の1 堀口賀代さん(塚沢中)
- 普2の4 松葉明日香さん(山辺中)
- 文2の4 大貫真比呂さん(藤岡二中)
- 普1の1 海老根香澄さん(鬼怒中)
- 普1の3 大根田悠花さん(芳賀中)
- 普1の5 大久保由希さん(下妻中)
- 普1の5 若林彩結美さん(大平南中)

バトントワリング部 自分との闘いに挑む

10月14日、千葉ポートアリーナにおいて「第52回バトントワリング関東大会」が開催されました。私たちがバトン部も全国大会出場を目標に練習を重ね大会に臨みました。

今年の演技タイトル&曲は、「Departure」。「壮大な空」を想わせる曲調に合わせたオープニングで演技が始まりました。昨年までの力強い動きと異なり、今年はやつたりとした大きく美しいポーズワークを心掛けて、12名で気持ちを一つにして演技しました。結果は、目標としていた全国大会出場には届かず、銀賞で終わりました。

悔しさはありましたが、今までの想いを全てぶつけて演技したこ



とで、自分たちの力を出し切ることでできた充実感が胸がいっぱいになりました。

来年度も全国大会出場を目標にこれからも日々「自分との闘い」に挑み続けます。

写真部

「笑顔」で関東大会出場

第24回関東地区高等学校写真展埼玉大会に文2の1弓場輝君（太田東中）の作品が選出されました。1月31日〜2月4日、さいたま市文化センターで展示され、4日に



は表彰式と講演会も行われました。

今年、栃木県大会の748作品の中から20作品が関東大会に出場し、関東大会では各県から160点が展示されました。どの作品にも個性があり、高い写真技術が感じられました。写真家の斉藤功一郎さんの講演もあり、有意義な1日となりました。

◆弓場君のコメント

今回、奨励賞を頂いた写真は社会見学の際に、クラスメートを撮ったものです。面白いメガネを

かけていたのでシャッターチャンスだと思いました。写真家の先生から「被写体のメガネに映った、カメラを構えた自分の姿と周囲の風景が良かった」と講評を頂きました。これからもインパクトのある写真が撮れるように頑張ります。

活躍する文化部

美術部

全国誌にて作品「インタビュー」掲載

「第15回高校生マンガ・イラストグランプリ」において、総1の2武田チヒロさん（邑楽中）が「キャラクターデザイン賞」と「特別賞エス賞」を受賞し、全国誌「スマールエスヴォー1・51」に作品、次号にはインタビューが掲載されました。また、渋谷日本デザイン学院にて表彰式が行われ、



展覧会形式の作品展示と編集者による講演会も行われました。

デザイン誌の中でも名高い雑誌「エス」での受賞は名誉なことでした。武田さんは「今後も自己研鑽し、よりよい作品を目指します。」と語りました。

生活科学部

高校生レシピコンテストで銅賞に!!

3月26日、東京調理専門学校で行われた第7回東日本高校生レシピコンテスト（学校法人食糧学院主催）の決勝大会に、総1の2小保方莉理さん（川内中）が出場しました。



今回のコンテストのテーマは「感謝」。小保方さんは家族への感謝の気持ちを料理で表現しました。応募総数522点の中から最終審査に残った小保方さんは、メニュー名「遊び心爆発！ハンバーガー」を調理し、審査員の前で実際に調理する緊張を感じながら、技術や味・彩りを競い、見事、銅

賞（3位）を受賞しました。

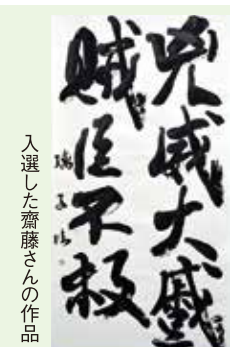
生活科学部はクッキーやケーキなどのお菓子作りを中心に活動しており、毎年、このコンテストに挑戦しています。今年は11人が一次審査を通過しました。小保方さんの活躍は他の部員の刺激にもなり、今後の活動がますます活発になることが期待されます。

書道部

3年連続の入選

10月12〜15日、「書の甲子園」とも言われる第26回国際高校生選抜書展（毎日新聞社・毎日書道会主催）の審査会が行われ、中国唐の時代の古典である顔真卿の「祭姪文稿」を臨書した、総3の3齋藤璃子さん（板倉中）の作品が入選しました。国内外15630点の出品作品のうち入賞入選作品は2100点でした。

齋藤さんは、3年間を通じて多くの書体に触れながら、力強い「祭姪文稿」を書き込み、3年連続の受賞となりました。作品は1月30日〜2月4日、大阪市立美術館に展示されました。



全国大会

ボクシング部
2年連続、全日本女王誕生！

ボクシング部 女子バスケットボール部
陸上競技部・柔道部・水泳部・男子ソフトボール部・女子ソフトテニス部 女子バレーボール部

12月13～17日、鳥取県米子産業体育館で、平成29年度第16回全日本女子ボクシング選手権大会が開催され、本校からはライトフライ



全日本女子ボクシング選手権出場メンバー
左から上原さん、高橋さん、吉澤さん、リフィーバーさん

級で文2の2高橋伶奈さん（小山三中）、フライ級で総2の2上原花梨さん（足利三中）、バンタム級で総1の1吉澤颯希さん（加須昭和）、ライト級で総1の1リフィーバー仁菜さん（佐野北中）の4名が出場し、吉澤さんが優勝、高橋さんが第3位入賞となりました。

吉澤さんは、今年度の関東大会で優勝を収めている実力者で、気

持ちの強さとパワフルなパンチを武器に勝ち進み、打ち合いを制して1年生ながら見事全国チャンピオンに輝きました。高橋さんは、日々の努力で着実に力をつけてきており、自分の持っている力を全て出し切り、3位の成績を収めることができました。上原さんとりフィーバーさんは惜しくも入賞を逃しましたが、「次は私たち」と闘志を燃やしています。

勝つ喜びを知った選手たちは、さらに練習にも身が入ることで、これからの活躍にもご期待ください。

女子バスケットボール部は12月23日より東京体育館で開催された

女子バスケットボール部
ウインターカップ 初出場ベスト16



大会会場にて

全国高等学校バスケットボール選手権大会に出場しました。夏のインターハイに続く全国大会出場で、夏に果たせなかった1勝を目標に大会に臨みました。

1回戦は滋賀短大附属高校との接戦をものにし、全国大会初勝利。2回戦は偶然にもインターハイで惜敗した松江商業高校。夏の借りを返すべく臨み、序盤から優勢にゲームを運び快勝することができました。3回戦は全国でも常に上位の強豪校・桜花学園でした。選手たちに緊張もあり、自分たちのペースで試合を運ぶことができず、全国レベルの高さを目の当たりにしたゲームでした。

しかし、初出場ながら全国ベスト16という成績は今後の活動の自信にもつながると思います。先輩たちが築き上げた実績に続くよう新チームも闘志を燃やしつつ、さらなる飛躍のために努力していきたいと考えています。

陸上競技部
全国高校女子駅伝4年連続出場

第29回全国高校駅伝競走大会が、12月24日、京都・西京極陸上競技場を発着とするコースで開催され、本校の女子チームが4年連続の出場を果たしました。

1区は自身も3年連続の出場となった文3の2野澤綺花さん（市貝中）が務め、中盤順位の27位な

がらも、ほぼ予定通りの力走を見せました。2区文2の4飯田亜弥さん（田沼西中）、3区文3の4飯塚唯さん（佐野南中）が、他4～5校と常に激しく競り合いにな



ゴール手前、健高大崎の選手と競り合う増子さん

るも、順位を死守。そして、悲願の初出走を果たした4区の主将文3の4飯塚響さん（足利二中）が前方との差を詰めて、アンカー5区の文2の3増子萌絵さん（大田原中）に襷を渡しました。増子さんも2番目に長い距離の準エース区間で懸命の粘りを見せ、3人を抜き去り24位でゴールしました。

本校が持つ全国大会13位の更新という目標は達成できませんでしたが、内容の濃いレースができ、次年度に大いに期待を抱かせてくれました。

U18・U20
日本陸上競技選手権大会

10月20～23日まで、愛知県名古屋市瑞穂パロマスタジアムにおいて、U18・U20日本陸上競技選手権が行われました。20歳以下と18歳以下の日本選手権ということも

あり、インターハイ以上にレベルの高い大会となりました。本校からは、6名の選手が出場しましたが、残念ながら予選敗退となりました。

笹沼さんはU20というカテゴリーで大学生との初レースに挑みました。来年度からは大学生として競技を続けていく笹沼さんにとって良い経験になったと思います。また、男子のリレーには、出走した4人全員が1年生という若いチームで出場しました。初の全国大会を経験したことで、自らの課題に気づき、今後大きく成長してくれることを期待します。

【出場選手】
U20女子1000mハードル
普3の5 笹沼若奈さん（佐野北中）
U18男子4×100mリレー
文2の1 中谷 航君（国分寺中）
文1の3 田所颯真君（赤見中）
文1の3 垂石悠吾君（小山城南中）
普1の3 稲垣優一君（三和中）
普1の4 磯部 剛君（栃木南中）



U18男子4×100mリレーのメンバー

柔道部

主将の齋五澤君が3位入賞

3月20日・21日、日本武道館において、第40回全国高等学校柔道選手権大会が開催されました。本校からは団体戦で6名、個人戦で5名が出場しました。



日本武道館での開会式

団体戦では1回戦、高知県代表の岡豊高校と対戦しました。普1の2澤口宗志君(十二月田中)が3人抜き、文2の2河村祥克君(真岡中)が2人抜きの活躍を見せ、勝利に導きました。2回戦ではシード校の一角である福岡県の福岡大学大濠高校と対戦しました。先鋒戦から一進一退の攻防が続く、あと1人のところで、惜しくも敗戦となりました。

個人戦においては73kg級の普2の3齋五澤航介君(足利一中)が3位と大健闘。初戦から積極的に得意技を仕掛け、相手を圧倒する

試合展開で勝ち進みました。準決勝戦では惜しくも敗戦となりましたが、全国のトップクラスと同等の実力があるという自信を得ることができました。

今回の大舞台での経験を生かし、今後の関東大会、インターハイに向けて、より良い成績を残せるよう日々精進してまいります。

水泳部

一泳入魂

3月27〜30日まで、東京辰巳国際水泳場において、第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会が開催され、本校からは、文3の3細澤知弘君(小山中)が50mバタフライ、100m自由形に出場しました。卒業後も後輩たちと厳しい練習に励み、たくさんのことを教えてくれました。「勝って、周りの人から喜ばれるチーム・選手になつてくください」と後輩たちにエールを送り、高校生活最後のレースに挑みました。最後まで諦めずに泳ぎ切りましたが、残念ながら決勝進出



競技に出場した細澤君

はなりません。レース後、「この3年間は、苦しいこともたくさんありましたが、今は素直に楽しかったと思えます。今後もしっかりと自分で考え、努力していきます。」と話してくれました。細澤君のさらなる活躍を期待します。

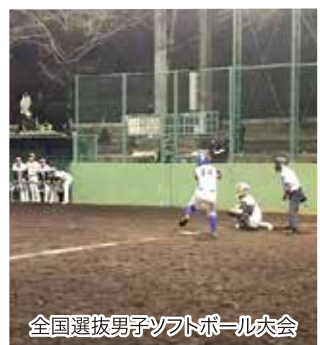
男子ソフトボール部

4年目の出場、遠い1勝

3月16日から高知県高知市の春野総合運動公園において男子ソフトボールの全国選抜大会が行われました。男子ソフトボール部は今年で4年連続4回目の出場となりました。毎年全国大会1勝を目指し練習してきました。

今年度はシードにより大会2日目から初戦となりました。対戦相手は前年度インターハイ準決勝の強豪、啓新高等学校(福井県)でした。1回戦で香川県の代表校を9対2で下したチームを相手に、初戦から身の引き締まる思いで臨むことになりました。試合は二回終了まで1失点におさえていましたが、三回からインターハイ準優勝の強力打線に捕まり、大量18失点での敗北となりました。無駄な四死球などで試合が長引き、内野のリズムも崩れ完敗でした。

このことを一つの反省材料として来シーズンに向けて実のある練習に取り組んでいきたいと思っています。



全国選抜男子ソフトボール大会

女子ソフトテニス部

全国私学3位入賞

女子ソフトテニス部は3月23〜25日にかけて東京体育館で行われた全国私学大会で4年ぶりとなる団体3位入賞を果たしました。直近の全国大会で優勝したチームを破っての第3位入賞とあって、全国選抜大会の活躍に期待が高まりましたが、名古屋市の日本ガイシホールで3月28〜30日に行われた全国選抜大会は3回戦で敗退。ベ



全国選抜大会会場にて

スト16という結果で終わりました。全国でも戦える自信を得た一方で、全国で勝ち上がる厳しさを知ったチームは夏のインターハイを目指します。

女子バレーボール部

1勝が1年の難しさ



全国大会集合写真

昨年12月に行われた県予選を勝ち抜き、全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会に6年振り5回目の出場を果たしました。

大会は、3月21〜24日に行われ、スカイアリーナ座間において、各県を勝ち抜いた強豪校と予選リーグを戦いました。白鷲が得意とする速いバレーで、粘り強くプレーし、善戦しましたが、全国の壁は高く、力の差を実感した大会になりました。

今回の大会で得た貴重な経験を生かし、課題克服に精進したいと思います。

白鷗大学だより

フルス ウルトラ
PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

男子バスケット部から4選手がBリーグへ 須田主将はリンク栃木ブレックスに入団

2018年春、男子バスケットボール部から4選手がプロバスケットボール・Bリーグに入団します。

リーグ初代王者で強豪のリンク栃木ブレックスに入団する須田昂太郎選手は、北海道出身でバスケットボールの名門校・東海大四高から本学に入学しました。大学

4年次にキャプテンを務めるなどチームの精神的支柱として、2年連続でインカレベスト4入りを牽引しました。プロ選手として活躍する兄を持ち、兄弟Bリーガーと



指示を出す須田選手

そのほか、神里和選手がアース

JR小山駅前のキャンパスに新棟と体育館が完成

2018年2月、法人創立100周年事業の一環として、JR小山駅東口前のキャンパスに8階建ての新棟と体育館が竣工しました。移行期間を設けて、11階建ての既存棟の一部改修工事を行ない、



完成した新棟

経営学部と本部機能を移転します。後期授業の開始に合わせて、今年9月から全面利用を開始。経営学部の3000人が学びます。新棟に設けられた3フロアからなる総合図書館は他のエリアに先駆け、4月に利用が開始されます。同図書館や学生食堂は白鷗生だけでなく、一般の方も利用できる施設となり、知と情報の拠点として、より地域に開かれたキャンパスに生まれ変わります。

さらに教育学部の学生たちが学ぶキャンパスにも、昨年に体操場が完成するなど、校舎の改修と緑

フレンズ東京Zに、野崎零也選手が、ファイティングイーグルス名古屋、奥野功知選手がライジングゼファー福岡にそれぞれ入団しました。

網野友雄監督は、「プロの世界へ羽ばたく4選手には、感謝を忘れずに努力を続け、思い切り挑戦してほしいです。多くの人から応援される選手になってほしい。」と期待を寄せました。

教員採用試験

◆正規合格者数が過去最高を記録

今年度の教員採用試験正規合格者が、171人と過去最高を記録しました。5年連続で1000人を化整備が本格化、これまで以上に快適な教育環境の整った、学びの場となります。

また今年4月1日より、キャンパス名が変更となります。小山駅前の校舎を「本キャンパス」、思川沿いにある校舎を「大行寺キャンパス」とそれぞれ名称が付けられました。



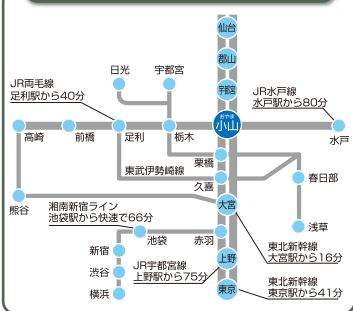
完成した体育館内(本キャンパス)

公立の教員採用試験正規合格者

小学校教諭 151名
中学校教諭(保健体育・英語・社会) 16名
特別支援学校教諭(既卒含む、臨時的任用除く) 4名

超える教採実績は、日頃の講義やゼミでの指導のほか、5年前に開設した「教職支援室」の手厚いサポートや「スクールサポート制度」によるものです。支援室には小中学校の管理職や教育委員会の指導主事などの経歴を持つ4人がアドバイザーとして常駐しており、学生たちは、授業の空き時間を利用して実践的なアドバイスを受けることができます。また、週に数回、近隣の小中学校に出向き、児童や生徒の学習指導や部活動支援を行う「スクールサポート」にも積極的に参加し、実際の教育現場を体験することで、教職への適性を知り、理想とする教師像を具体化することにつながっているようです。現在、小山市をはじめ、下野市、古河市、結城市の4市でスクールサポートの経験を積んでいます。

白鷗大学へのアクセス



本校舎トピックス

商業コース・総合選択コース インターシップ

10月24・27日の4日間、商業コースと総合選択コースの2年生合わせて120名を対象にインターシップが実施されました。

事前に宇都宮ビジネス電子専門学校に宇都宮先生によるマナー講座を受講し、インターシップの意義や働く上で気をつけなくてはならないことなどを学び、インターシップに臨みました。

商業コースでは、足利市内の製造工場、スーパーマーケットなどの小売店、飲食店、ホテル、金融機関などで実習を行いました。また、総合選択コースでは、足利市役所や図書館、市民体育館、病院、保育所、工場など幅広い職種の実習を体験しました。



病院での実習の様子

最初は慣れない業務に不安な面

持ちの生徒たちでしたが、実習先の方々の親切丁寧な指導のおかげで、働くことにやりがいや楽しさを感じ、責任の重さも実感することができました。

11月15日には、後輩たちに向け



ホームセンターでの実習の様子

てのインターシップ報告会を実施し、体験した事業所ごとに体験内容や感想などを発表しました。学んだこと・感じたことが、後輩たちに伝わったことを願っています。

普通・商業・総合選択コース

合唱祭

11月8日の5、6限目に本校舎マルベリーホールで、普通・商業・総合選択コースの1年生9クラスによる合唱祭が開催されました。

各クラスとも音楽の授業、朝や放課後の時間を使って練習を重ねてきました。本番を迎えるまでには、意見がぶつかり合うことやク



合唱祭の様子

ラスがまとまらずに悩んだこともあったと思います。そのような困難をクラスの皆で乗り越えて、様々な想いを胸に本番の日を迎えました。

合唱祭当日、緊張した面持ちで舞台へ上がり、いざ演奏が始まるとどのクラスも堂々とした歌声を披露していました。そこには、クラスの親睦が深まって一致団結し成長した生徒たちの姿がありました。

今後何事にも本気で挑戦して、充実した学校生活を送って欲しい

修学旅行

沖縄

文2の4イクシムエラシケル(佐野北中)

沖縄のバスの中で流れる空を眺めていると、バスガイドさんがここは元は戦争で焼けて黒と白の世界だったと言いました。

しかし、今は時が流れてサトウキビ畑の緑と空の白と青の風景。道端に咲く赤、黄、白色の花は、車窓からでも鮮やかに目に映り返りました。

と思います。

結果は次の通りです。

- 最優秀クラス賞 普通コース3組
- 優秀クラス賞 総合選択コース1組
- 審査員特別賞 普通コース4組
- 最優秀指揮者賞 商1の2小和田愛生さん(定利三)
- 最優秀伴奏者賞 総1の2須永有梨亜さん(貞沼中)

手紙作文コンクールで銀賞に入賞

日本郵便株式会社主催の、第50回手紙作文コンクールが行われ、普1の3高橋里加子さん(古河一中)が絵手紙部門で、見事銀賞に選ばれました。今回は全国から7838点もの絵手紙が応募され、その中で入賞作品はわずか212点。さらにその中で銀賞という快挙を成し遂げました。今回の入賞



むら咲きむらでのエイサー体験

を受けて、足利郵便局長が来校され、校長室で高橋さんに直接表彰をしてくださいました。高橋さんは「まさか入賞するとは思っていません。来年はさらに良い作品を作りたい。」と意気込んでいます。入賞作品は、日本郵便局のHPにアップされています。是非ご覧ください。



足利郵便局長から表彰を受ける高橋さん

バスは進み、街並みが急に開けると一瞬にして誰もが子供のようになり、笑顔をこぼすくらい綺麗な景色に変わりました。それは青を基調としながらも、見る角度によって翠玉、深緑、藍色となる海。それらは自分の知る海の既成概念を良い意味で壊してくれました。沖縄での4日間はあつと言いう間に過ぎました。帰りの那覇空港では、もの寂しさを感じながら、写真に収まりきれない思い出とともに飛行機を待ちました。

富田キャンパスピククス

修学旅行

11月6日から5泊6日の日程で、九州・関西方面への修学旅行が実施されました。鹿児島では、明治維新に活躍した西郷隆盛や大久保利通の軌跡を辿り、長崎では、近代日本の象徴である軍艦島に上陸、原爆資料館では平和学習をしました。この旅行は日本の近代化の過程を体感するとともに、平和について考える機会を与えてくれました。



ふるさと偉人館にて

また、生徒たちには主体的に見学・体験学習に取り組んでほしいという考えから、三つの体験コースを設けました。種子島宇宙センターで最先端の科学技術を見学する種子島コース、壮大な世界自然遺産の中でマリン体験をする屋久島コース、鹿児島の歴史や文化に触れる鹿児島観光コースから生徒



ユニバーサルスタジオジャパンにて

たちがそれぞれ選択しました。通常の観光ではできないような貴重な体験に、生徒たちは新鮮な驚きと感動を覚えたようです。大阪では、有名店でお好み焼きを食べたり、ユニバーサルスタジオジャパンで友人と楽しい時を過ごしたり、多くの生徒が一生の思い出に残る旅行になったと喜んでいました。

帰校後、2年生全員で「平和について」の作文を書きました。「一人ひとりが知覧や長崎で見聞きたことを真摯に受け止め、今自分がすべきことを真剣に考えている内容の作文が多く、この修学旅行を通して生徒が成長していることを実感することができました。」

スピーチコンテスト

11月24日、進学コース外国語系の3学年生徒を対象に英語プレゼンテーションコンテストが、2学

年生徒を対象に英語スピーチコンテストが、それぞれシーガルホールにて行われました。これは英語力の向上と日頃の学習成果の発表を目的とし、富田校舎にて毎年開催しているものです。

今回のプレゼンテーションコンテストのテーマは「社会問題」についてでした。進3の1の生徒は男女2チームに分かれ、男子生徒チームは「Happiness」、女子生徒チームは「Artificial Intelligence」というタイトルで、動画やグラフを織り交ぜたスライドを利用した発表を行いました。各チームともに熱意のこもった発表でしたが、僅差で勝利は女子チームの手に渡りました。

またスピーチコンテストでは、初めてとなる公の発表の機会に緊張する中、全員が真剣に「自らの夢」を語りました。最優秀賞は明るく堂々とした発表を行った進2の1の鈴木彩那さん（佐野北中）による「Catching My Dream」に決まりました。



プレゼンコンテスト優勝チーム

センター試験 分析と応援

1月13日・14日に足利工業大学においてセンター試験が行われました。厳しい寒さのもと富田校舎・本校舎合わせて160名が臨みました。足工大の正門で教員たちが、3年生にエールを贈るのも恒例となりました。不安そうな顔、興奮気味の顔など多様な表情が見られました。受験予定者全員が無事会場に入っていく姿を見届けることが出来ました。

センター試験は2020年の大学入試改革に伴い、問題の傾向が

大泉町合唱祭

11月23日に大泉町文化むらで行われた大泉町合唱祭に、本校の合唱部が招待団体として出演しました。

大きな舞台での演奏ということもあり、最初は緊張した様子でしたが、この日はたくさんの方の合唱部の卒業生がかけつけ、アドバイスや応援の言葉をくれ、生徒たちの緊張感も少しずつほぐれていったようでした。

本番では、しっとりとした「A Whole New World」を歌い、次に「Ain't No Mountain High Enough」を元気にいっばいに歌い上げ、最後は卒業

変わってきていますが、今年の難易度はほぼ平年並みだったようです。いずれにしても問題の質は明らかに変化してきており、思考力を問う問題が多くなってきました。これからは大学入学共通テストに向けて適応していくことが重要になってくると思います。

共通テストの今後の流れ



大泉町合唱祭

生も舞台上に立ち、「民衆の歌」で会場を盛り上げました。他の学校にはない手拍子やパフォーマンスを取り入れた合唱に、大きな拍手をいただくことができ、また、演奏後は部員も卒業生も「楽しんで歌うことができた」と笑顔を見せていました。

スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

生徒研究発表会

2月24日に富田校舎のシーガルホールでSSH生徒研究発表会が行われました。SSH活動も29年度で最終年度を迎え、最後の発表会になりました。大学や地元企業、



発表の様子



英語による発表

市役所からたくさんの方々にご出席いただき、盛大に開催されました。
宇都宮大学・群馬大学・前橋工科大学・帝京大学・白鷗大学等と連携して課題研究に取り組んだグループや本校職員と共に日々実験や考察、プレゼンテーションの練習に費やしてきたグループなど研

< 発表テーマ一覧 >

- (1) 接ぎ木がホウレンソウの性決定に与える影響
- (2) 水陸両用車の開発
- (3) ダイエットの近道～身近な食材から～
- (4) おばあちゃんの知恵袋～キャベツ編～
- (5) 飲みかけの飲料にひそむ細菌たち
- (6) 足利再興計画
- (7) カラスの行動の優先順位
- (8) こちら国際宇宙ステーション
- (9) ひなたと日陰の温度差
- (10) I Don't Need English
- (11) 競技力向上のために
- (12) 足尾鉍毒事件の検証
- (13) 植物染 研究
- (14) 指スマゲーム
- (15) 材質と断面の異なる物質の曲がり方
- (16) カビの発生を抑えるには
- (17) 放散虫の進化系列に関する研究
-Podocytis amplia の進化について
- (18) Reducing sheep stress levels during iPSC cell operations
- (19) ビーマンのおいしい食べ方
～味と栄養を考えて～
- (20) 学習補助アプリの開発
- (21) 魚の交替性転向反応について

究の幅は多岐に渡りました。

iPS細胞の研究や水陸両用車の開発、足利市再興計画、植物染めなどは、5年間のSSH活動で継続して研究してきたグループです。iPS細胞の研究では、2年目に行った海外研修を踏まえ、発表会では全て英語によるプレゼンテーションとなりました。水陸両用車の開発では、設計図を描くところから始め、モーターやボディの材質、浮力の計算、遠隔操作のためのプログラミングなど少しずつ進化してきました。5年間通して研究を重ねたことで、内容にも深みが増して行きました。
この5年間で学んだことを生かして、生徒自身が自ら考え積極的に行動できるように成長することを期待します。



講評を頂いた
宇都宮大学 山根先生

群馬大学講演

2月13日に、富田校舎の1年生を対象としたSSH科学体験講座が行われました。今回は群馬大学



群馬大学板橋先生による講演

理工学部の板橋英之先生による「大学発ベンチャーの挑戦ーウッドチップブロックから自動運転まで」という講演でした。群馬大学で開発されたウッドチップブロックを道路に用いることで二酸化炭素の削減が図れることや、自動運転システムについての研究と実際の自動運転の動画など、生徒たちは興味深く視聴していました。
大学の先進的な研究について知ることができ、有意義な時間となりました。

白鷗理科教室

12月26日と3月11日に、足利市の毛野公民館で白鷗理科教室が開催されました。この理科教室は毛野地区の小学校の生徒を対象とし、理科に対する興味・関心を高めることを目的とした活動で、今

回で4回目です。初回の申し込みには定員が50名のところ倍以上の申し込みがあったため、本年度は同じ場所で2回実施することとなりました。テーマは理科の実験や数学のさまざまな、藍染め体験など計11種類でした。
当日は高校生も小学生も楽しみながら実験に取り組んでいました。参加した小学生全員が「ぜひまた参加したい」と答えており、白鷗理科教室は成功裏に終わることができました。
高校生たちも有意義な時間を過ごすことができたようで、初回だけでなく、2回目も参加してくれた生徒が数多くいました。今後も、このような活動を続けていきたいと思えます。



理科教室の様子

PTAだより

進化する白鷗大学足利高等学校 PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様
御卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんは、これからそれぞれが夢に描いた新しい道を歩まれるわけですが、高校生活で培った「PLUS ULTRA」の理念と、諸先生方から教えを受けた技術や知識を生かして社会人として、そして学生として大きな夢に向かって前進して下さい。

生徒会役員決定

生徒会は、11月1日の認証式をもって発足しました。生徒会メンバーは、本校舎12名、富田校舎12名の計24名です。昨年から経験者は5名だけで大多数が新メンバーです。しかしながら一人ひとりが皆やる気に満ち溢れており、「自分達の学校をより良くする」との熱い思いを持っています。登校時の挨拶運動やベクトロボトルのキャップ



本校舎生徒会役員

- | | |
|-----|------------------|
| 会長 | 商2の2 鶴見侑樹(鷺生中) |
| 副会長 | 総2の1 末 雅之(加須西中) |
| 書記 | 普2の3 森 彩乃(三和北中) |
| 議長 | 文1の1 大島陽太(大平中) |
| 副議長 | 総2の1 金井 翔(坂西中) |
| 書記 | 普2の4 田島菜友花(清流中) |
| 副書記 | 別府玲奈(境野中) |
| 書記 | 普2の1 藤原彩花(山辺中) |
| 書記 | 普1の3 藤原真帆(結城東中) |
| 書記 | 普1の4 植野綾華(小山中) |
| 書記 | 普1の2 飯塚樹璃(結城中) |
| 書記 | 商1の1 若杉アユミ(太田東中) |



富田校舎生徒会役員

- | | |
|-----|-------------------|
| 副会長 | 特選2の1 秋山柊太(白鷗中) |
| 議長 | 進2の4 松倉一生(広沢中) |
| 副議長 | 進2の4 村本翔英(太田南中) |
| 書記 | 特選1の1 笹川優奈(山辺中) |
| 書記 | 進2の1 根本美香里(佐野西中) |
| 書記 | 中高2の1 遠藤大輔(白鷗中) |
| 書記 | 中高2の1 久保寺慧(白鷗中) |
| 書記 | 特選2の1 若林万葉(太田東中) |
| 書記 | 進1の1 多田菜優(愛宕台中) |
| 書記 | 進1の1 下山純凜(栃木東中) |
| 書記 | 進1の2 渡邊 旭(栃木西中) |
| 書記 | 進1の2 東 優希(くまもと県立) |

ところで卒業生の皆さんは3年間の高校生活の中で、どのような思い出を作りましたか。希望する大学を目指して夜遅くまで自習室で勉強に励んだこと、クラブ活動で勝利を目指して練習に取り組んだことなど、多くの思い出を作られたことと思います。3年間の大切な思い出は皆さんの将来にとって、きっと大きな支えとなっていくものだと信じております。

そして皆さんが学んだ白鷗大学足利高等学校は新年度より大きく進化しようとしています。入学される生徒さんの希望が多様化する

回取、ボランティア活動など、先輩方から引き継いだものを大切にしつつ、「PLUS ULTRA」

中、コースの再編が行われ、生徒一人ひとりを輝かせる進学サポート体制を強化し、すべてのコースが進学を見据えた教育体制に変更され、将来の夢を実現するためのきめ細やかな指導を実現していきます。新しい教育体制につきましては、私たち保護者（PTA会員）も、教職員の皆様と力を合わせてまいります。OBとなられた卒業生の皆様にも大きなお力添えをお願い致します。

予餞会



2月1日、本校舎新体育館で予餞会が行われました。

今年の予餞会は、生徒と職員の出演のみでシンプルながらも自分たちの手作りの催し物となりました

の精神で、新しいことにも積極的にチャレンジすべく意気込んでいます。歴史と伝統のある本校の生



SOG0321によるダンス

た。ショーの幕開けは、風間先生の手品でした。次に「猫と羊の雑種が歌うよ」では自家製の着ぐるみを着て歌を披露。「R17」「Tw

ingirls」も歌を披露。「ステイール」が演奏と歌を披露。「職員バンド」として3人の先生方と生徒のバンド演奏と続き、「AI+AYURI」では、先生と生徒のすばらしいダンス、「SOG0321」こと総合選択コース9名のユニットダンスと続き、最後にバトントワリング部が華麗なバトン演技を披露してくれました。その後、3年生の高校生

徒会役員として、日々成長していきます。

活の記録写真を生徒会役員で編集したスライドショーを視聴し、全員が学校生活の思い出を振り返りました。最後に、校歌を高らかに大合唱し、会を閉じました。

生徒にとっては、高校生活の良い思い出の1ページになったことと思います。

編集後記



新たな千年を目前にして、コンピュータの誤作動が懸念されていた年から18年が過ぎ、今日ではAIが面接をしたデータをもとに、新入社員の可否を決めるまでになつていきます。「人間はみかんとは違う」と思いながらも、時代の流れには逆らえません。現在ある仕事の多くは、近い将来消えてしまふとも言われています。

これを憂慮しながらも、何もしないでいたら道は拓けません。人間らしく生きていくには、先人から学びつつ、新しい何かを見出し行動していく力が必要です。そのエネルギーと無限の可能性を秘めて巣立つてゆく卒業生たちの、輝かしい未来に、エールを贈ります。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-410890
制作・(有)コーエイプロセス
発行日・平成30年3月31日